

石木ダム水源地域整備計画（案）

令和 7 年11月
長 崎 県

TABLE OF CONTENTS

- 01 はじめに
- 02 整備イメージ（案）
- 03 ダムを活用した地域振興

水源地域の振興の必要性

長崎県の河川は流域が小さく、河川の勾配が急であることから、水害を受けやすいと同時に水を貯める能力が低いという特徴があります。そのため、長崎県においては、地域の安全を守り、水を確保し、県民の暮らしを支えていくにはダムの建設は必要不可欠であるとともに、ダムを建設し、維持していくために地元の皆様の理解と協力が欠かせません。

一方で、ダム建設は、住宅や農地などを水没させ、水没地域とその周辺地域の人々の生活に大きな影響を及ぼします。

そのため、生活再建の支援とともに、水源地域への影響の緩和や地域の活性化を目的に、道路や水道の整備などによる生活環境整備や、スポーツ・レクレーション施設の整備などによる交流人口の拡大といった取り組みを進めていく必要があります。

石木ダム水源地域整備計画の基本理念

水源地域にお住まいの方々の生活環境の更なる向上と
地域外からの誘客による地域の賑わいの創出

石木ダムにおいても、ダム建設が地域へ及ぼす影響を緩和し、水源地域の方々が暮らしやすく、賑わいのある地域とするため、この基本理念に沿って、起業者である県及び佐世保市並びに地元川棚町とともに、水源地域の振興を図ってまいります。

具体的には、周辺道路の整備などにより水源地域の住民の皆様が安全で暮らしやすい生活環境を整えるとともに、虚空蔵山、日向の棚田、岩屋権現、木場浮立といった地域資源を活用した施設の整備による賑わいの創出を目指していきます。

基本理念を実現するための **3つの柱**

①地域住民の『生活基盤』の充実

より安心安全な生活ができるような、道路や水道等を整備することで生活基盤の充実を図ります。

②地域住民の『生活の質』の向上

より豊かで、活力のある生活を送るため、健康増進施設や交流施設等を整備することで生活の質の向上を目指します。

③地域外からの『誘客』による活性化

地域の観光資源を整備し、地域の魅力を発信することで、交流人口を増やし、地域の活性化を図ります。

基本理念を実現するための3つの柱ごとの整備

地域住民の『生活基盤』の充実

■道路整備

- ・一般県道嬉野川棚線整備
- ・町道中峰線整備

■上下水道整備

- ・合併浄化槽の設置

■河川整備

- ・ツブキ川護岸整備

基本理念

水源地域にお住まいの方々の生活環境の更なる向上と地域外からの誘客による地域の賑わいの創出

地域住民の『生活の質』の向上

■生涯スポーツ振興

- ・運動公園の整備
- ・多目的広場、遊具公園の整備
- ・周回道路の整備（散策路、展望所）

■地域活性化

- ・広場（貯水池末端付近）の整備

地域外からの『誘客』による活性化

■観光資源の顕在化

- ・岩屋広場の整備
- ・棚田地区の景観保全
- ・ホタルの里整備

■誘客環境整備

- ・農産物販売施設の整備
- ・キャンプ場の整備

■インフラ活用

- ・堤体の活用（ダム見学）
- ・ダムカレーの提供

4. 石木ダム周辺整備の全体概要

02 整備イメージ（案）

新たな魅力の創出

誘客による活性化

生活の質の向上

既存インフラの整備

生活基盤の充実

【木場水汲み場】

本資料は現時点の情報であり、今後変更になる場合があります。

ホタルの里整備

棚田地区の景観保全

貯水池末端広場の整備

農産物販施設の整備

町道中峰線整備

【木場多目的エリア】

堤体の活用（ダム見学）

多目的広場、遊具公園の整備

岩屋広場の整備

石木ダム

周回道路の整備

【岩屋交流エリア】

一般県道嬉野川棚線整備

【ダム下流多目的エリア】

運動公園の整備

ツブキ川護岸整備

黒杵が水源地域整備計画の対象事業。

その他、基金等を活用して地域の皆様の生活支援等を検討してまいります。

5. 新たな魅力の創出 【ダム下流多目的エリア】

02 整備イメージ（案）

位置図



年間を通して子供からお年寄りまで幅広い方が親しめるように
スポーツやレクリエーションの広場を整備します。



イメージパース

5. 新たな魅力の創出 【ダム下流多目的エリア】

02 整備イメージ（案）

遊具広場



ダム下流多目的広場①



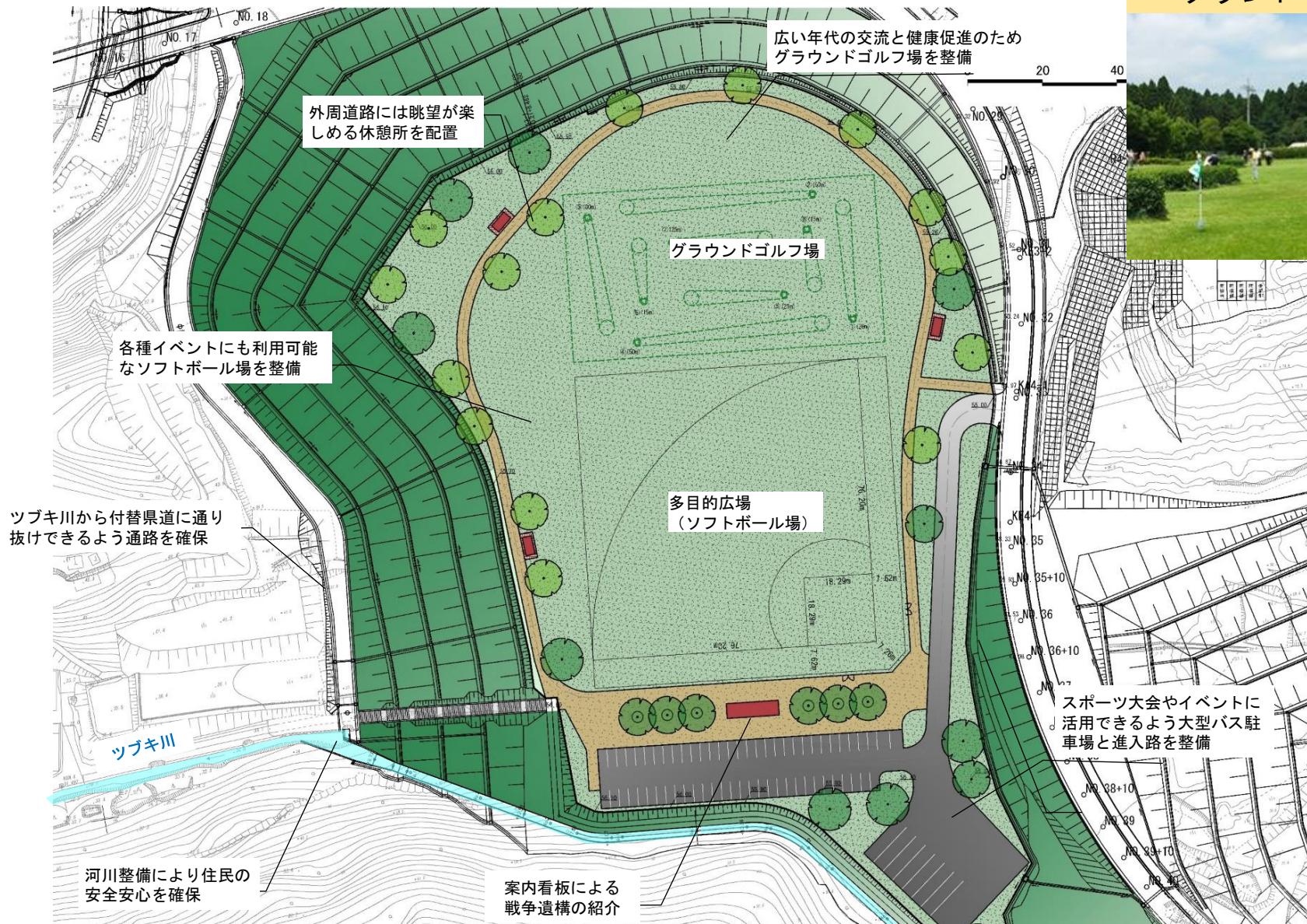
水遊び



キャンプ場



ダム下流多目的広場②

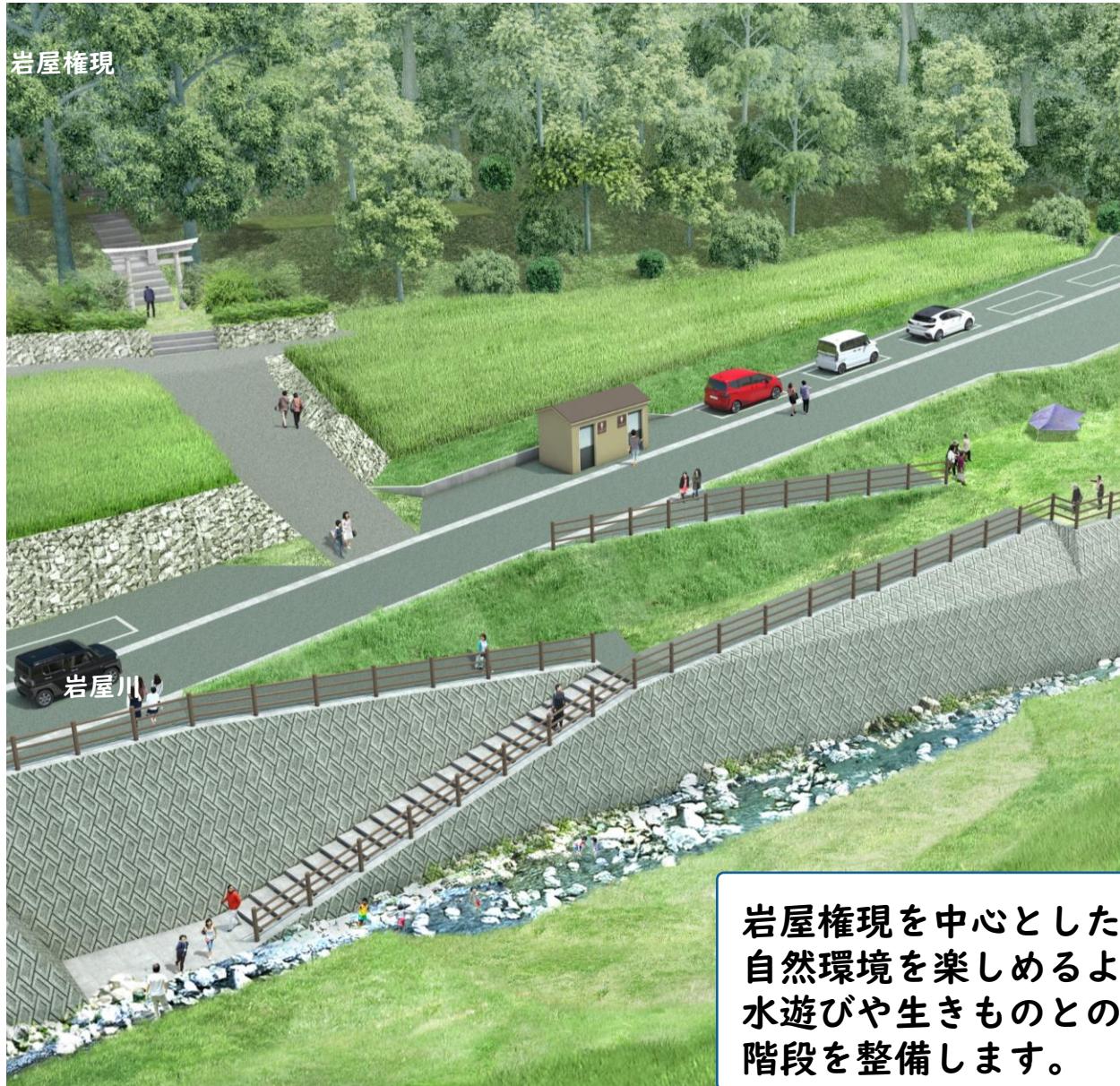


グラウンドゴルフ場



5. 新たな魅力の創出 【岩屋交流エリア】

02 整備イメージ（案）



位置図



イメージパース

岩屋権現を中心とした史跡や周辺の豊かな自然環境を楽しめるような場や、岩屋川で水遊びや生きものとのふれあいが楽しめる階段を整備します。

5. 新たな魅力の創出 【岩屋交流エリア】

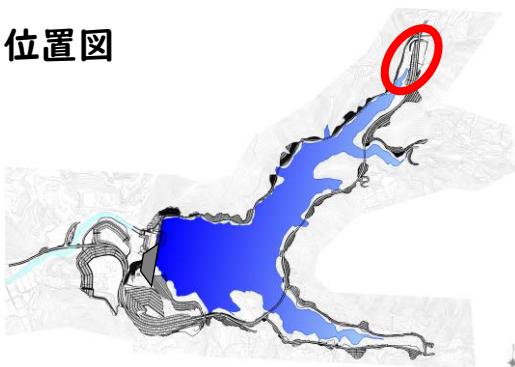
02 整備イメージ（案）



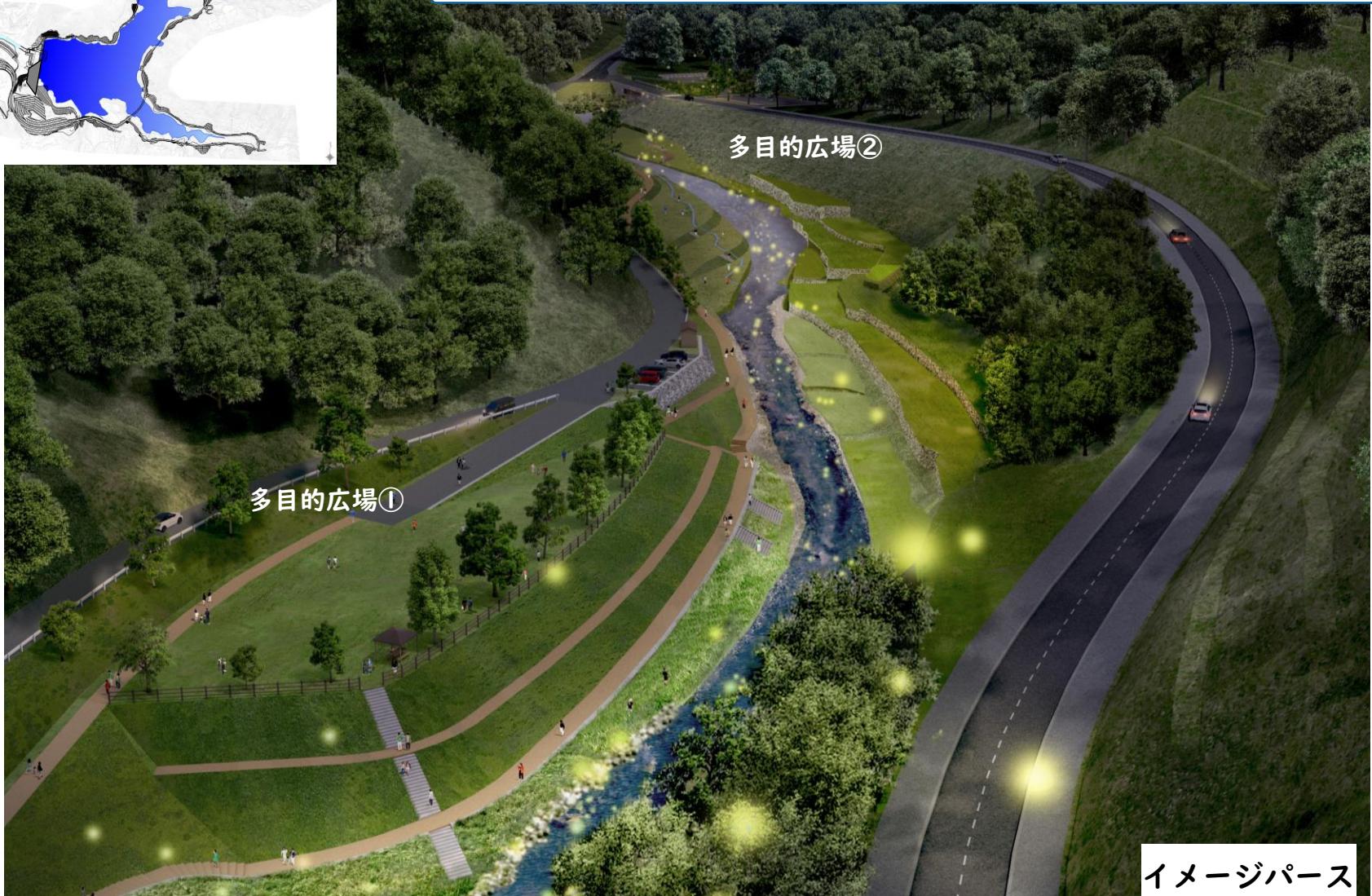
5. 新たな魅力の創出 【木場多目的エリア】

02 整備イメージ（案）

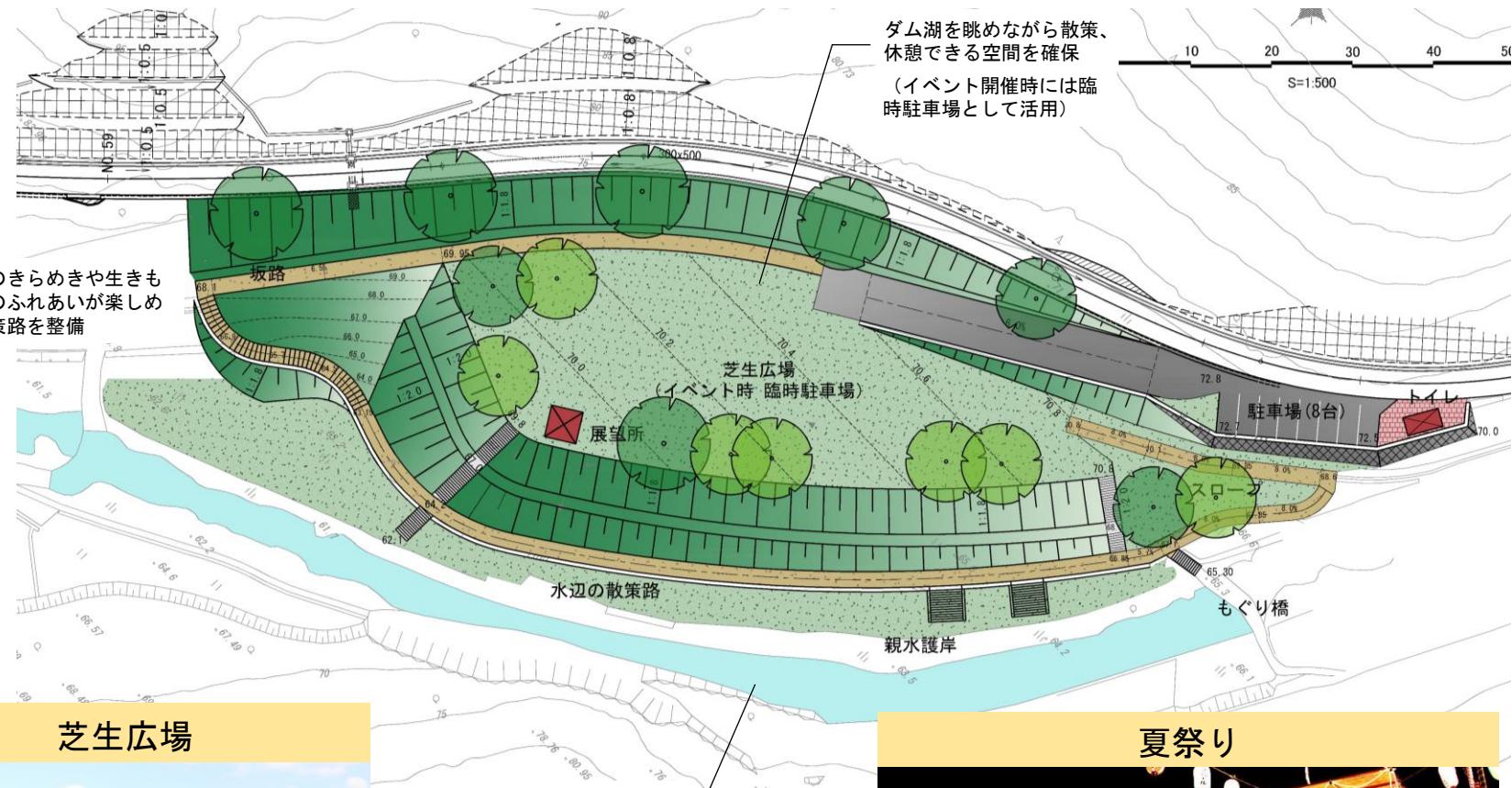
位置図



周辺住民の憩いの場として、ホタル祭り等のイベントも継承できるエリアとし、多目的広場や親水広場を整備します。



木場多目的広場①



芝生広場



川で安全に遊べるように河床を整備し、水に近づきやすい親水空間を創出

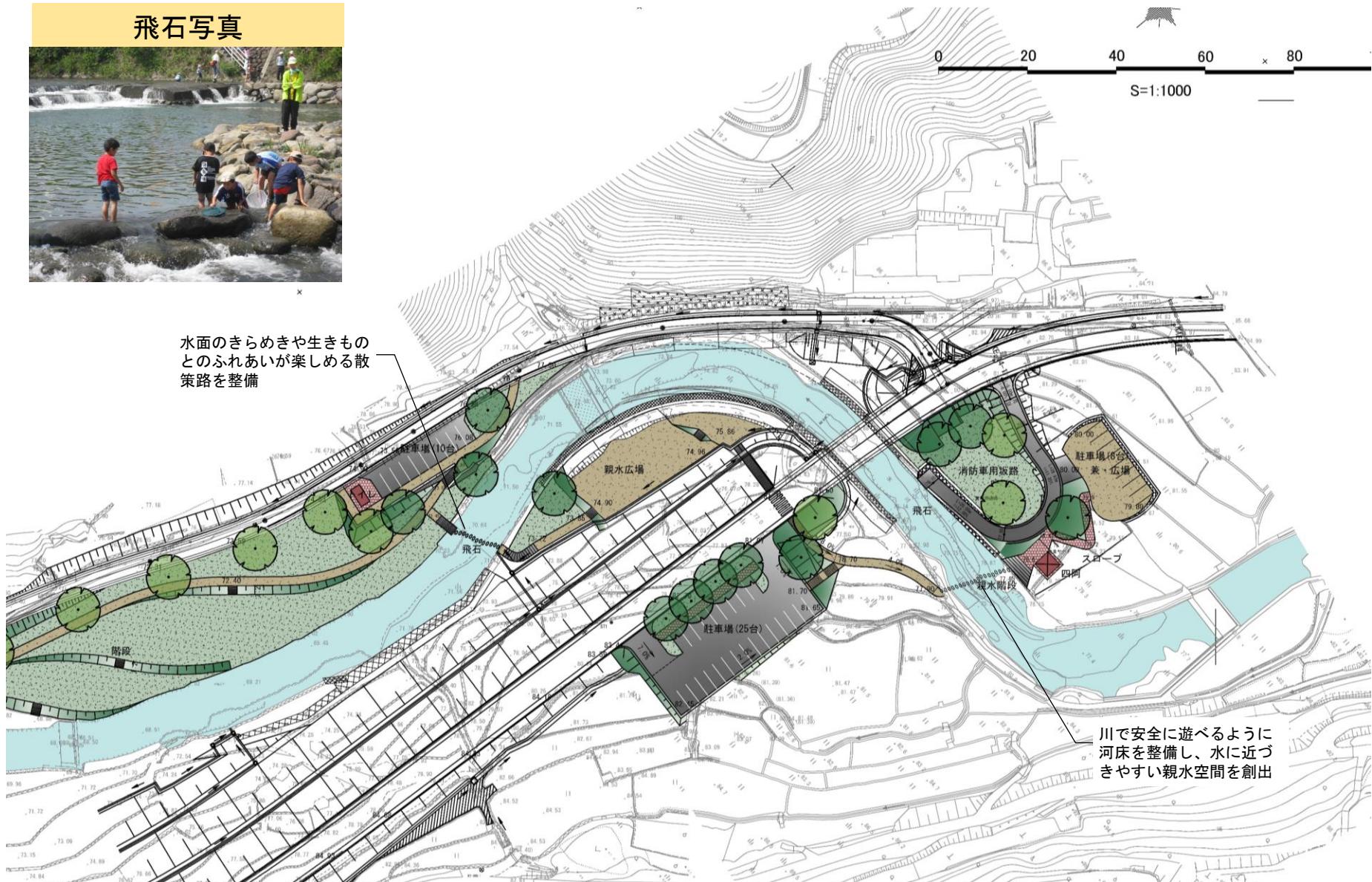
夏祭り



木場多目的広場②



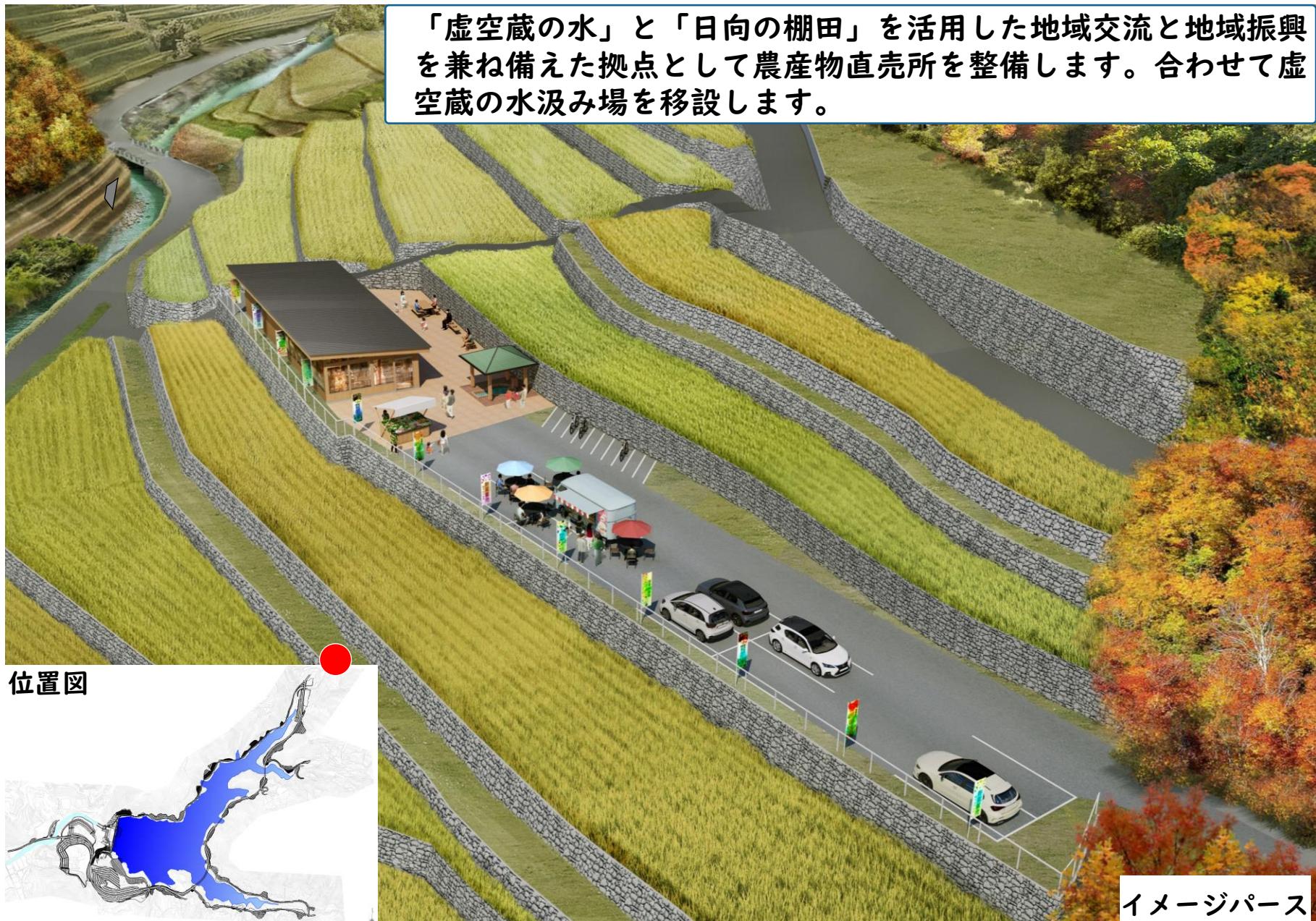
水面のきらめきや生きものとのふれあいが楽しめる散策路を整備



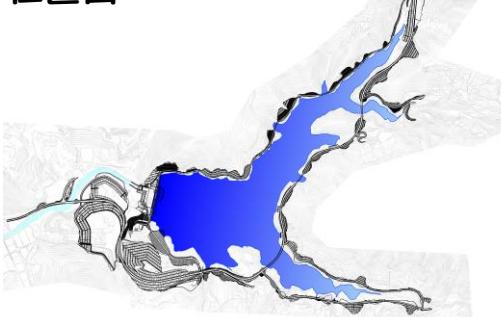
5. 新たな魅力の創出 【木場水汲み場】

02 整備イメージ（案）

「虚空蔵の水」と「日向の棚田」を活用した地域交流と地域振興を兼ね備えた拠点として農産物直売所を整備します。合わせて虚空蔵の水汲み場を移設します。



位置図

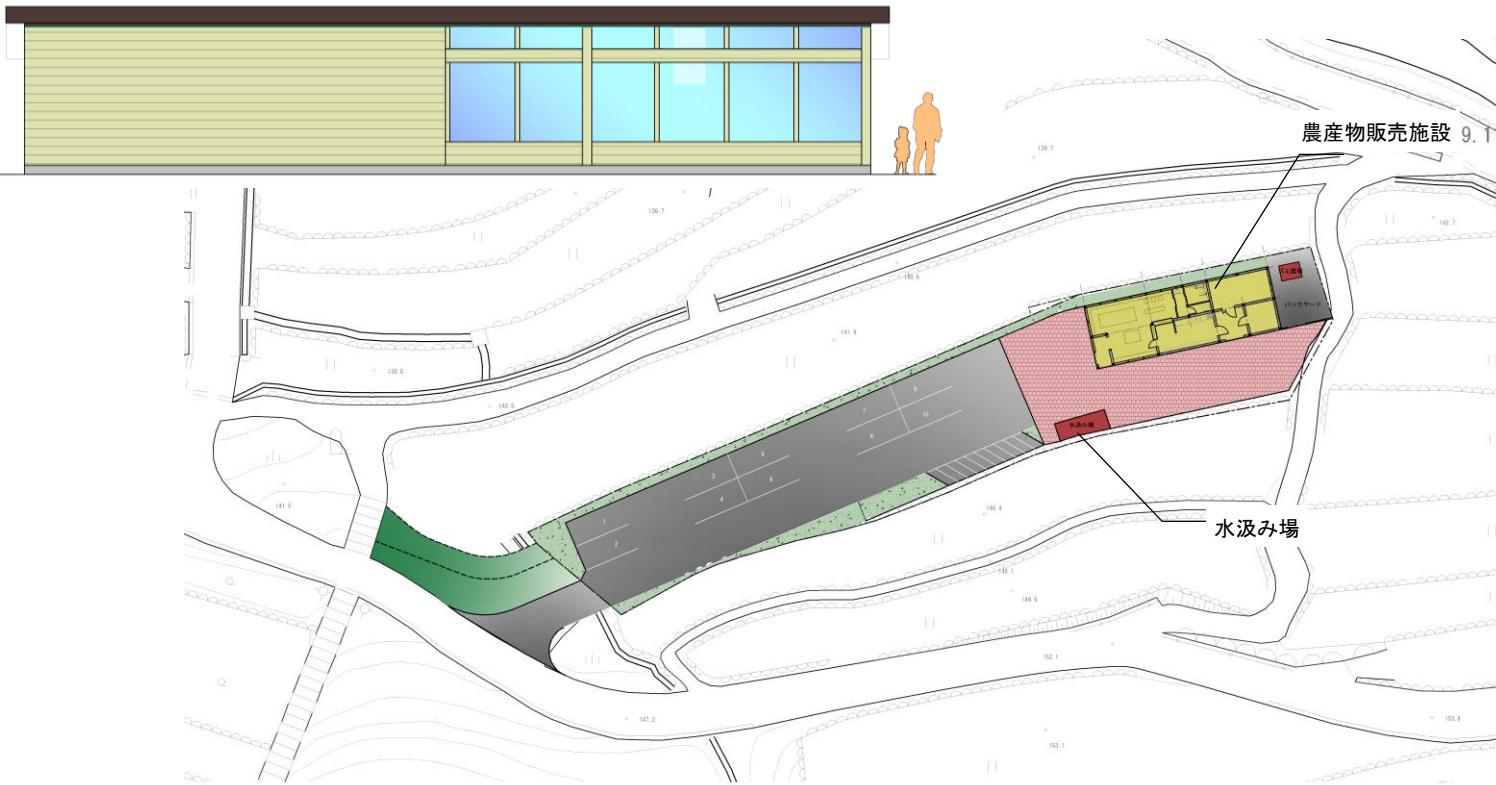


イメージパース

5. 新たな魅力の創出 【木場水汲み場】

02 整備イメージ（案）

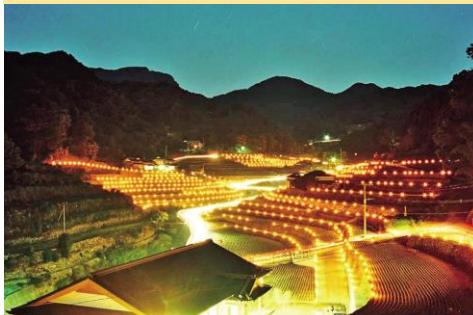
農産物販売施設



農産物販売施設



木場棚田だんだんまつり



ダムカレー（萱瀬ダム）



水汲み場



6. 既存インフラの整備

02 整備イメージ（案）

本資料は現時点の情報であり、今後変更になる場合があります。

生活基盤の充実

生活の質の向上

誘客による活性化

合併浄化槽の設置(石木地区、木場地区)

簡易水道等(木場地区)

町道中峰線整備

一般県道嬉野川棚線整備

ツブキ川護岸整備

ツブキ川

黒枠が水源地域整備計画の対象事業。
その他、基金等を活用して地域の皆様の生活支援等を検討してまいります。

周辺観光・トレッキング（モデルコースイメージ）

02 整備イメージ（案）

石木ダム周辺には、「虚空蔵山」や「日向の棚田」、「岩屋権現」など、豊かな自然や観光資源がたくさんあります。ダム建設に併せて、これらの資産を活用した地域振興を進めていきます。



各地で、ダムが観光やレジャー、イベントの拠点として活用されています。

ダムは自然と人工物が融合した壮大な景観を持ち、観光地としてのポテンシャルが高く、周辺の地域資源と組み合わせることで、地域の魅力を発信できます。

かやぜ インフラツアーア (萱瀬ダム: 大村市)



たての ダムから生まれる賑わい (立野ダム: 熊本県)



萱瀬ダムと大村湾内クルーズを体験できるインフラツアーア。普段は見ることの出来ないダムの中を特別見学

阿蘇の観光資源と立野ダムを連動させたインフラツアーアを商品化し、多くの観光客を誘導する取り組み

ダムによる地域振興の活用事例

こうのうら
親しまれる憩いの場（神浦ダム：長崎市）



ダム下流で川遊びができる広場などを整備しており、イベント会場や市民の憩いの場として利用されています。

さぐりがわ
ダムから生まれる賑わい（三国川ダム：新潟県）



写真提供：南魚沼サイクルフェスタ事務局

ダム周辺でロードレースが開催されるほか、ダムと地域の観光地を自転車で巡る観光コースも人気です。

ダムによる地域振興の活用事例

よこぜかわ クライミングウォール（横瀬川ダム：高知県）



ダム壁面を活用したクライミング施設。小学生から年配の方、未経験の方が気軽に楽しめるコース

あまがせ 地域と連携した夜間の取組（天ヶ瀬ダム：京都府）



地域と連携し観光客向けの夜間の取組としてダムにプロジェクションマッピング

ダムによる地域振興の活用事例

道の駅「のつはる」（ななせダム：大分県）



のつはるファミリーフェスタ



ダム湖が一望できる位置に道の駅を整備。

農産物の販売やレストラン運営、定期的なイベント開催を行っており、地域の賑わいの拠点となっている。

のつはる天空広場（ななせダム：大分県）



ななせの里まつり



のつはる音の森フェスティバル



材料山跡地を利用して、公園を整備
野外ステージや人工芝のサッカー場、
多目的広場、駐車場が整備されており、
音楽イベントや地域のお祭り、
サッカー大会等、多くの方に多目的
に利用されている。

ダムによる地域振興の活用事例

神水川パークゴルフ場 (嘉瀬川ダム: 佐賀県)
かせがわ



北部九州最大のパークゴルフ場
カヌー体験やマルシェといったイベントが
開催される

五ヶ山クロス (五ヶ山ダム: 福岡県)
ごかやま



那珂川市との包括連携協定に基づきモンベルが指定管理者となって運営することで、先端的で使い勝手の良いキャンプ場整備が実現している。